

方針	6	公共資産の有効活用・最適化（ファシリティマネジメント）	年度別計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆普通財産の有効活用・処分</li> <li>◆赤道、水路、畦畔などの売払い促進・売払い事務の手引きに基づく取組の推進</li> <li>◆庁用車両全体の使用状況把握・適正化に向けた検討</li> </ul>
基本的取組	6-1	ファシリティマネジメントの推進	令和5年度	
プラン	30	市有財産の有効活用・最適化		
担当課	管財課、道路管理課、企画経営課、関係各課			

市が保有する普通財産（土地、用途廃止した赤道\*・水路等）について、総量の抑制に努めるとともに、行政財産としての活用及び有償による貸付けや売払いを推進します。また、庁用車の在り方を検討し、必要台数の精査に取り組むことや、効果的な管理手法を検討します。

※赤道…公図上で地番が記載されていない土地（無地番地）の一つで、道路であった土地のこと。

前期	
<b>【取組計画】（PLAN）</b> ○市が保有する普通財産（土地等）について、草刈りや樹木の剪定などの適切な日常管理を行う中で、有償による貸付けや行政財産としての活用を推進するほか、行政目的としての活用が見込まれない普通財産については、売却処分を行うことで、財源の確保に努めます。 ○売却処分が困難な土地については、民間事業者の経験や専門知識を活用し、ヒアリングを行いながら有効活用の方策を検討します。 ○庁用車の管理について、デジタル技術を活用した管理システムを導入している他団体の先進事例を調査し、導入可能性について検討します。 ○閉庁日に市民へ開放することもできるよう、庁用車としてゼロエミッションビークル（ZEV）のシェアリング車両を導入することについて、他団体や事業者ヒアリングを実施します。 ○道路予定地の有効活用として、有償による貸付けを行います。 ○事前相談で要望を受けた赤道、水路、畦畔などについて、令和4年度に作成した「公有財産売払い業務の手引き」に基づき、適切な売払いの促進を推進します。 ○道路台帳の電子化に伴う市道路線の一括廃止・認定に向けた業務を推進します。	
<b>【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）</b> ○普通財産（土地）の売払いに向けて、調布市財産価格審査会における審査や境界確定・測量等を実施し、手続を進めました。また、引き続き普通財産19箇所の有償貸付を実施したことにより、財源の確保に努めました。 ○貸付未実施の普通財産（土地）の活用方策として、カーシェアリングの導入や災害時に無償提供する自動販売機の設置、EV充電設備の設置等のゼロカーボンシティやフェーズフリーの要素を取り入れた手法の導入可能性について、民間事業者等にヒアリングを実施しました。 ○庁内各課が使用する庁用車の使用状況について、環境政策課と連携して調査・把握を行うとともに、使用頻度の低い各課所管の専用車を共用車とすることを関係課と検討しました。また、効率的・効果的な庁用車の活用に向けて、先進自治体にヒアリングを実施しました。 ○道路予定地の有効活用として、有償による貸付けを3件行いました。 ○事前相談で要望を受けた赤道、水路、畦畔などについて、令和4年度に作成した「公有財産売払い業務の手引き」に基づき、売払いを5件行いました。 ○道路台帳の電子化に伴う市道路線の一括廃止・認定に向けた路線網図の作成を実施しました。	
<b>【年度別計画に対する今年度の進捗見込】（CHECK）</b>	○
<b>【後期における取組の方向】（ACTION）</b> ○普通財産（土地）の売払いを実施するとともに、引き続き市有財産の有効活用を図るため、各種調査・検討を実施するなどの取組を推進します。 ○庁用車の管理について、他団体の事例調査等を踏まえて、導入効果や課題を整理し、庁用車全体の適正化に向けた取組を推進します。また、職員の移動手段に電動アシスト自転車を加えることにより、庁用車の利用頻度を下げ、今後の庁用車の保有台数の減少につなげることを検討します。 ○引き続き、赤道、水路、畦畔などの売払いを推進します。 ○引き続き、道路台帳の電子化に伴う市道路線の一括廃止・認定に向けた業務を推進します。	

後期	
<b>【取組計画】（PLAN）</b> ○市が保有する普通財産（土地等）について、適切な日常管理を行う中で、有償による貸付けや行政財産としての活用を推進するほか、行政目的としての活用が見込まれない普通財産については、売却処分を行うことで、財源の確保に努めます。 ○売却処分が困難な土地については、民間事業者の経験や専門知識を活用しつつ、有効活用方策を検討・実施します。 ○庁用車の適正化に向けた検討については、他団体の事例や、デジタル技術を活用した管理システムを導入している事例調査を踏まえた導入効果や課題を整理・検証し、今後の方向について関係課と協議します。 ○閉庁日に市民へ開放することもできるよう、庁用車としてゼロエミッションビークル（ZEV）のシェアリング車両を導入することについて、他団体や事業者ヒアリングを踏まえて、導入効果や課題を整理・検証し、今後の方向について関係課と協議します。 ○道路予定地の有効活用として、有償による貸付けを行います。 ○事前相談で要望を受けた赤道、水路、畦畔などについて、令和4年度に作成した「公有財産売払い業務の手引き」に基づき、適切な売払いの促進を推進します。 ○道路台帳の電子化に伴う市道路線の一括廃止・認定を実施します。	
<b>【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）</b> ○調布市財産価格審査会における審査や境界確定・測量を実施のうえ、土地売買契約等を締結して普通財産（土地）の売払い1件（約973万円）を実施しました。また、普通財産19箇所の有償貸付を継続実施したことにより、財源の確保に努めました。 ○普通財産（土地等）について、有償による新規の貸付けに向けて民間事業者等へのヒアリングを実施しました。 ○庁用車の適正化に向けた検討については、効率的・効果的な庁用車の活用に向けて、世田谷区にヒアリングを実施し、関係課と情報共有を図りました。また、デジタル技術を活用した管理システムを展開している事業者等にヒアリングを行い、その導入効果や課題を整理するため、環境政策課等の関係部署と連携して今後の方向について協議を行いました。 ○庁用車の使用状況の調査・把握に努め、車種・導入年度・年間走行距離・燃料使用量・燃費等を把握のうえ、庁用車全体の適正化に向けて、車両所有部署とのヒアリングや関係課との協議を実施しました。 ○カーシェアリング事業の導入については、狛江市にヒアリングを実施するなど、市庁舎駐車場の在り方の検討と併せて、閉庁日は市民に庁用車を開放するカーシェアリング車両の導入について可能性を検討しました。 ○職員の移動手段にシェアサイクル事業を含む電動アシスト自転車を加えることにより、庁用車の利用頻度を下げ、今後の庁用車の保有台数の減少につなげることを検討しました。 ○道路予定地の有効活用として、来年度の土地の有償による貸付けに向けた協議を実施しました。 ○事前相談で要望を受けた赤道、水路、畦畔などについて、令和4年度に作成した「公有財産売払い業務の手引き」に基づき、売払いを4件行いました。 ○道路台帳の電子化に伴う市道路線の一括廃止・認定の議決を受け、新たな路線網図の作成を実施しました。	

総括	
<b>【今年度の総括、次年度以降の取組の方向】（CHECK・ACTION）</b>	
<b>年次評価</b>	<b>B（概ね計画どおりに進捗）</b>
○市が保有する普通財産（土地等）について、適切な日常管理を行う中で有償による貸付けや行政財産としての活用を推進するほか、行政目的としての活用が見込まれない普通財産については、売却処分を行うことで、財源の確保に努めます。 ○売却処分が困難な土地については、民間事業者の経験や専門知識を活用しつつ、有効活用方策を検討・実施します。 ○庁用車全体の適正化に向けては、引き続き、使用状況を把握のうえ、必要台数の精査に取り組むとともに、庁内関係部署と他団体の先進事例調査の情報を共有し、事故防止対策を含めた効果的な管理手法を検討する取組を推進します。 ○なお、各課で管理する専用車を含めた庁用車の一元管理や庁用車保有台数の減少による買換え費用の削減については、効率的・効果的な管理体制の構築等が不可欠であり、引き続き今後の方向について関係部署と連携を図り、検討を進めます。 ○例年実施している土地の貸付け及び、公共の用に供していない水路・畦畔などについて売払いを実施するとともに、行政財産である赤道の廃道及び売払い・付替え交換を行うことで、適正な財産管理を行いました。 3件52万2792円の貸付及び9件7785万5300円の売払いを実施しました。 ○令和5年第4回定例会において、道路台帳の電子化に伴う市道の一括廃止・認定の議決を受け、公共の用に供していない道路の認定を廃止し、一般財産とすることで、売払いの手続を効率化しました。	

方針	6	公共資産の有効活用・最適化（ファシリティマネジメント）	年度別計画	◆公園施設・下水道施設・道路施設の適正管理、長寿命化、ライフサイクルコスト等縮減の推進 ◆道路施設の維持管理における公民連携手法導入に向けた取組の推進 ◆下水道管路の維持管理業務への包括的民間委託の導入に向けた取組の推進 ◆下水道ビジョンの投資・財政計画の再検証
基本的取組	6-1	ファシリティマネジメントの推進	令和5年度	
プラン	31	インフラマネジメントの推進		
担当課 緑と公園課, 下水道課, 道路管理課, 企画経営課				
老朽化が進む既存のインフラについては、調布市公共施設等総合管理計画における基本方針を踏まえ、適正管理、長寿命化、ライフサイクルコストの縮減等の取組を推進します。インフラマネジメントの取組の一環として、下水道管路の維持管理における包括的民間委託の導入に向けた取組を推進します。また、道路施設の維持管理については、公民連携手法の導入に向けた検討を行います。下水道事業については、調布市下水道ビジョンに基づき、中長期的な収支見通しを踏まえた事業費の平準化や財源確保に向けた検討など、持続可能な経営を目指します。				

前期	
【取組計画】（PLAN）	
<p>○調布市公園施設長寿命化計画に基づき、公遊園（遊具含む）の改修・更新に取り組みます。また、便施設である老朽化したトイレについては、調布市公遊園・公衆トイレ整備計画に基づき、バリアフリー対応も含め改修・更新を行います。</p> <p>○公園内の遊具については予防保全の観点から、適切な維持管理により長寿命化を図ります。その他の設備についても適切に維持保全を図るとともに、ライフサイクルコストの縮減の視点を持ち、取組を推進します。</p> <p>○下水道ストックマネジメント計画に基づく設計・工事の推進及び次期計画策定に向けたマンホール点検を実施します。</p> <p>○下水道管路の維持管理業務への包括的民間委託の導入に向けて、参入予定業者の意向を確認するためのサウンディング調査を実施します。</p> <p>○経営戦略の再検証にあたり、下水道事業経営の専門家等で構成する「調布市下水道事業経営戦略改定に係る検討専門委員会（以下「経営戦略改定委員会」という。）」の設置準備をします。</p> <p>○調布市道路総合管理計画策定等推進委員からの意見聴取及びパブリック・コメント手続を実施し、（仮称）調布市道路総合管理計画の策定に向けた検討を進めます。</p> <p>○道路施設の維持管理における公民連携手法の導入に向け、市内事業者と意見交換を図りながら、検討を進めます。</p>	
【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）	
<p>○「調布市公園施設長寿命化計画」に基づき、設計を行いました。</p> <p>○「調布市公遊園・公衆トイレ整備計画」に基づき、設計及び工事発注を行いました。</p> <p>○下水道ストックマネジメント計画に基づく設計・工事を契約しました。次期計画策定に向けたマンホール点検についても契約しました。</p> <p>○下水道管路の維持管理業務への包括的民間委託の導入に向けて、参入予定業者の意向を確認するためのサウンディング調査を実施し、その結果を踏まえたプロポーザル募集の準備を行いました。</p> <p>○経営戦略の再検証にあたり、経営戦略改定委員会を今年度下半期に開催できるよう設置準備を進めています。</p> <p>○調布市道路総合管理計画策定等推進委員から意見聴取しながら、調布市道路総合管理計画（素案）を取りまとめ、パブリック・コメント手続を実施しました。</p> <p>○道路施設の維持管理における公民連携手法の導入に向け、具体的に着手すべき事項について検討を行いました。</p>	
【年度別計画に対する今年度の進捗見込】（CHECK）	○
【後期における取組の方向】（ACTION）	
<p>○後期では、長寿命化計画に基づく遊具更新を行うとともに、市内公遊園等トイレの整備設計、工事を進めます。</p> <p>○下水道ストックマネジメント計画に基づく設計・工事の適切な進捗管理を行います。次期計画策定に向けたマンホール点検についても適切な進捗管理を行います。</p> <p>○下水道管路の維持管理業務への包括的民間委託の導入に向けて、プロポーザル手続を適切に行います。</p> <p>○経営戦略改定委員会の開催により、調布市下水道事業の現状分析及び課題を明確にするともに、課題解決の道筋について検討します。</p> <p>○パブリック・コメント手続実施による市民からの意見、調布市道路総合管理計画策定等推進委員からの意見聴取を踏まえ、調布市道路総合管理計画（案）の作成に向けた検討を進めます。</p> <p>○道路施設の維持管理における公民連携手法の導入に向け、市内事業者と意見交換を図りながら、検討を進めます。</p>	

後期	
【取組計画】（PLAN）	
<p>○前期に引き続き「調布市公園施設長寿命化計画」に基づく公遊園遊具の更新を実施します。また、更新予定箇所については、利用ニーズ等の反映を目的にアンケートを行い、利用しやすい公遊園整備に取り組みます。</p> <p>○下水道ストックマネジメント計画に基づく設計・工事の推進及び次期計画策定に向けたマンホール点検を実施します。</p> <p>○令和6年度からの下水道管路の維持管理業務への包括的民間委託の導入に向けた事業者選定のため、プロポーザルを実施します。</p> <p>○経営戦略改定委員会において、経営状況の分析、将来分析、経営課題解決の抽出を行います。</p> <p>○パブリック・コメント手続実施による市民からの意見、調布市道路総合管理計画策定等推進委員からの意見聴取を踏まえ、（仮称）調布市道路総合管理計画を策定します。</p> <p>○市内事業者との意見交換の内容を踏まえ、道路施設の維持管理における公民連携手法の導入に向け、検討を進めます。</p>	
【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）	
<p>○調布市公園施設長寿命化計画に基づき、対象となる遊具36基の更新を実施しました。公遊園等トイレの整備については、市内6箇所（布多公園、佐須公園、染地公園、古天神公園、ターザン児童遊園、又住橋緑地）の設計、4箇所（いなり橋児童遊園、西つじヶ丘児童遊園、ターザン児童遊園、布多公園）のトイレ整備工事（令和4年度繰越分を含む）を完了しました。</p> <p>○経営戦略改定委員会を開催し、下水道事業の経営状況の分析、将来分析を実施し、経営課題を抽出しました。委員会では、下水道事業の安定経営に向けて下水道使用料水準の見直しの必要性を確認するとともに、使用料の算定方法について検討を行いました。</p> <p>○下水道ストックマネジメント計画に基づく設計・工事の推進及び次期計画策定に向けた管路点検を実施しました。</p> <p>○令和6年度からの下水道管路の維持管理業務への包括的民間委託の導入に向けた事業者選定のため、プロポーザルを実施し、優先交渉権者を選定しました。</p> <p>○全ての道路管理業務及び道路管理分野の個別計画の上位計画として、調布市道路総合管理計画を策定しました。</p> <p>○道路管理施設の維持管理における公民連携手法の導入に向け、市内事業者との意見交換の内容を踏まえ、検討を行いました。</p>	

総括	
【今年度の総括、次年度以降の取組の方向】（CHECK・ACTION）	
年次評価	A（計画どおりに進捗）
<p>○令和6年度は「調布市公園施設長寿命化計画」を変更してから5年が経過するため、長寿命化計画の時点修正を行います。また、更新予定箇所については、利用ニーズ等の反映を目的に、年度前半にアンケートを行い、後半に利用しやすい公遊園整備に取り組みます。</p> <p>○経営戦略改定委員会の開催に伴い、下水道事業経営の現状・課題を明確にするとともに、使用料水準の在り方及び算定方法について議論を行いました。次年度は、令和5年度決算を踏まえた使用料水準の算定等を行うとともに、経営戦略を改定（計画期間：令和7年度～令和16年度）します。</p> <p>○下水道ストックマネジメント計画に基づく設計・工事の推進及び次期計画策定に向けた管路点検については、計画通り実施しました。次年度以降の下水道ストックマネジメント計画に基づく設計・工事についても、計画通り実施していきます。</p> <p>○下水道管路の維持管理業務への包括的民間委託導入については、プロポーザルで選定された事業者と3箇年の委託契約を締結し、管路の維持管理を推進していきます。</p> <p>○今後は、令和5年6月に国土交通省から発出され、導入を求められている管理・更新一体マネジメントであるウォーターPPP等の官民連携事業の導入可能性について検討を進めます。</p> <p>○市内業者との意見交換の内容を踏まえ、道路施設の維持管理に関する公民連携手法の導入に向けた、仕様書・要求水準書・実施方針の検討を進めます。</p>	

方針	6	公共資産の有効活用・最適化（ファシリティマネジメント）	年度別計画	◆公共施設マネジメント計画に基づく取組の推進 ◆公共施設マネジメント推進体制の検討
基本的取組	6-1	ファシリティマネジメントの推進	令和5年度	◆公共施設マネジメントに関する庁内横断的な検討・先進的な事例の調査・研究 ◆神代出張所機能移転の検討
プラン	32	公共施設マネジメントの推進		◆神代出張所の機能移転後の跡地活用の検討
担当課	企画経営課、宮繕課、関係各課			

調布市公共施設マネジメント計画に基づく取組の推進のほか、他自治体の先進的なモデルケースの調査・研究や今後の公共施設マネジメントに関する推進体制の検討等に取り組めます。また、神代出張所の機能移転に向けた検討に取り組むとともに、機能移転後の跡地活用について検討します。

前期	
<b>【取組計画】（PLAN）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○調布市公共施設マネジメント計画に基づく取組を着実に推進します。</li> <li>○公共施設マネジメントの取組を支える推進体制を構築するため、他自治体の事例を調査・研究します。</li> <li>○公共施設マネジメントに関する庁内横断的な検討や、他自治体における先進的なモデルケースを調査・研究します。</li> <li>○神代出張所の機能移転に向けた検討に取り組むとともに、機能移転後の跡地活用について検討します。</li> </ul>	
<b>【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共施設マネジメント計画に位置付けた各事業について、所管課と連携して取組を推進しました。</li> <li>○新たな公共施設マネジメントの推進体制を構築するため、課題の整理や、他団体の体制を調査し類型別に整理しました。</li> <li>○公共施設等マネジメント推進検討会議を開催して、庁内横断的な検討を進めました。</li> <li>○神代出張所の機能移転に向け、つつじヶ丘駅周辺の状況を調査しました。</li> </ul>	
<b>【年度別計画に対する今年度の進捗見込】（CHECK）</b>	○
<b>【後期における取組の方向】（ACTION）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○引き続き、公共施設マネジメント計画に位置付けた各事業について、所管課と連携して取組を推進します。</li> <li>○他団体の体制を調査するため、類型別に複数の団体を視察します。</li> <li>○必要に応じ公共施設等マネジメント推進検討会議を開催して、庁内横断的な検討を進めます。</li> <li>○神代出張所の機能移転に向け、移転候補地等を検討します。</li> </ul>	

後期	
<b>【取組計画】（PLAN）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○調布市公共施設マネジメント計画に基づく取組を着実に推進します。</li> <li>○公共施設マネジメントの取組を支える推進体制を構築するため、他自治体の事例を調査・研究します。</li> <li>○公共施設マネジメントに関する庁内横断的な検討や、他自治体における先進的なモデルケースを調査・研究します。</li> <li>○神代出張所の機能移転に向けた検討に取り組むとともに、機能移転後の跡地活用について検討します。</li> </ul>	
<b>【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共施設マネジメント計画に位置付けた各事業について、所管課と連携して取組を推進しました。</li> <li>○新たな公共施設マネジメントの推進体制を構築するため、引き続き、他団体の体制を調査し、今後の体制の在り方を検討しました。</li> <li>○公共施設等マネジメント推進検討会議を開催して、庁内横断的な検討を進めました。</li> <li>○自治体等FM連絡会議多摩地域会や、たま公民連携PPP・PFIプラットフォームの講演会などに参加し、公共施設マネジメントに関する先進的なモデルケースについての情報収集に努めました。</li> <li>○神代出張所の暫定移転候補地の確保に向けた取組を進めました。</li> </ul>	

総括	
<b>【今年度の総括、次年度以降の取組の方向】（CHECK・ACTION）</b>	
年次評価	<b>A（計画どおりに進捗）</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共施設マネジメント計画の初年度として、計画に位置付けた各事業について、所管課と連携を図りながら着実に取組を推進しました。一方、昨今の建設資材の高騰や労務単価の上昇、技術者不足の影響等により、市の発注案件でも契約不調が見られることから、一部の事業において、進捗調整を図る必要が生じました。引き続き、建設業界の動向を踏まえながら、適宜時点修正に努めます。</li> <li>○年度別計画に基づく令和7年度からの新たな公共施設マネジメント推進体制への移行に向け、市の課題や他団体の事例を踏まえた検討を進めます。</li> <li>○公共施設マネジメントの推進に向け、引き続き、公共施設マネジメントに関する庁内横断的な検討や、他自治体における先進的なモデルケースを調査・研究します。</li> <li>○神代出張所の暫定移転に向け、引き続き取組を進めます。</li> </ul>	

方針	6	公共資産の有効活用・最適化（ファシリティマネジメント）	年度別計画	◆市庁舎の長寿命化等の視点を踏まえた維持保全の実施 ◆立体駐車場跡地活用を含めた市庁舎狭あい化対策の推進 ◆市庁舎の将来的な更新に向けた基金の積立
基本的取組	6-1	ファシリティマネジメントの推進	令和5年度	
プラン	33	市庁舎の長寿命化等と将来的な更新に向けた基金の積立		
担当課	管財課、企画経営課、関係各課			

市庁舎については、長寿命化に向け適切な維持保全に努めるとともに、狭あい化対策に取り組みます。また、総合福祉センター機能の移転に伴う調布駅周辺の福祉機能については、調布市役所及び敷地内の活用を視野に、市庁舎の長寿命化・狭あい化対策と併せて、総合的に検討します。あわせて、市庁舎の将来的な更新に向け、基金を計画的に積み立てます。

前期	
【取組計画】（PLAN）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○市庁舎1階駐車場、2階・3階事務室等の照明設備のLED化工事を実施します。</li> <li>○災害時における非常用電源設備の継続稼働72時間化に向けた燃料槽の増設工事を実施します。</li> <li>○立体駐車場跡地の有効活用を含めた庁内レイアウト検討案を作成します。</li> <li>○令和4年度に制定した「市庁舎整備基金条例」に基づき、市庁舎の将来的な更新に向け、計画的な基金の積立を行います。</li> </ul>	
【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和5年6月に市庁舎1階駐車場、2階・3階事務室等の照明設備のLED化工事が完了しました。また、市庁舎4階・6階の事務室及び議会棟本会議場等の照明設備のLED化工事に向け、契約手続等の準備を進めました。</li> <li>○災害時における非常用電源設備の継続稼働72時間化の実現に向け、「調布市市庁舎非常用発電設備燃料槽整備工事」の契約を締結し、工事に着手しました。</li> <li>○市庁舎狭あい化対策検討会を開催し、立体駐車場跡地の有効活用を含めた庁内レイアウト変更について検討を進めました。</li> <li>○市庁舎整備基金として当初予算に計上した10億円の積立を行いました（令和5年度末の基金積立残高見込10億円）。</li> </ul>	
【年度別計画に対する今年度の進捗見込】（CHECK）	○
【後期における取組の方向】（ACTION）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○立体駐車場跡地の有効活用を含めた庁内レイアウト変更については、市庁舎の狭あい化対策だけでなく、来庁者の円滑な手続動線や福祉的付加機能を考慮した検討を進めます。</li> </ul>	

後期	
【取組計画】（PLAN）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○市庁舎4階・6階の事務室及び議会棟本会議場等の照明設備のLED化工事を実施します。</li> <li>○災害時における非常用電源設備の継続稼働72時間化に向けた燃料槽の増設工事を継続実施します。</li> <li>○次年度以降の工事実施に向け、受変電設備及びエレベーターの更新に係る設計を行います。</li> <li>○立体駐車場跡地の有効活用を含めた庁内レイアウト検討案について、各部署との調整を行います。</li> <li>○財政部門と連携を図りながら、市庁舎整備基金の計画的な積立を行います。</li> </ul>	
【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和6年2月に市庁舎4階・6階の事務室及び議会棟本会議場等の照明設備のLED化工事が完了しました。</li> <li>○令和6年3月に災害時における非常用電源設備の継続稼働72時間化の実現に向けた「調布市市庁舎非常用発電設備燃料槽整備工事」が完了しました。また、同月に「災害時における燃料の供給に関する協定」に基づき、非常時を想定した燃料供給訓練を実施しました。</li> <li>○次年度以降の工事実施に向け、受変電設備及び内部エレベーターの更新に係る設計を行いました。また、次年度以降のリース契約で行う空調設備更新については、現状の設備状況を確認し、更新対象機器の周辺設備状況の確認及び仕様書の作成を行いました。</li> <li>○市庁舎狭あい化対策検討会を開催し、立体駐車場跡地の有効活用を含めた庁内レイアウト変更について検討を進めました。</li> <li>○市庁舎整備基金へ当初予算に計上した10億円の積立を行いました。また、指定寄附分の11件、13万5千円を受け、令和5年度末の基金積立残高は、10億13万5千円となりました。</li> </ul>	

総括	
【今年度の総括、次年度以降の取組の方向】（CHECK・ACTION）	
年次評価	B（概ね計画どおりに進捗）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○立体駐車場跡地の有効活用を含めた市庁舎狭あい化対策については、市庁舎狭あい化対策検討会を開催し、現状の執務室の狭あい化や会議室の不足などの課題に加え、調布駅周辺の福祉機能（地域共生スペース等）の確保、ワンストップ窓口、こども家庭センターへの対応など、考慮しなければならない課題があることを確認しました。</li> <li>○令和6年度は、これらの課題解決に向け、立体駐車場跡地等に増築可能な建物規模を精査するとともに、庁内関係部署との協議・調整のうえ、増築フロアへの移転部署及び現市庁舎内レイアウト変更案を策定します。</li> </ul>	

方針	6	公共資産の有効活用・最適化（ファシリティマネジメント）	年度別計画	
基本的取組	6-1	ファシリティマネジメントの推進		
プラン	34	新たな総合福祉センターの整備の推進	令和5年度	◆総合福祉センターの移転に向けた協議・調整 ◆検討会の検討結果や利用者・関係団体等との意見聴取を踏まえた取組の検討・実施
担当課	福祉総務課, 企画経営課			

「総合福祉センターの整備に関する考え方」に基づき、新たな総合福祉センターの機能や設備等について、「新たな総合福祉センターの機能・設備に関する検討会」の検討結果や利用者・関係団体等の意見を踏まえながら、地域共生社会を充実するための総合的な福祉の拠点となるよう整備・移転に向けた取組を進めるとともに、周辺福祉施設機能の集約・複合化を図ります。

前期	
<b>【取組計画】（PLAN）</b>	
<p>○「新たな総合福祉センターの機能・設備に関する検討会」を開催し、これまでいただいた御意見等を踏まえ、市の基本的な考え方を整理しながら、検討会の結果等を取りまとめます。</p> <p>○新たな総合福祉センターの検討に当たっては、引き続き、利用者や関係団体等の御意見を丁寧に伺いながら、移転に向けた取組を推進します。</p> <p>○新たな総合福祉センターに必要な施設機能等を検討するため、庁内横断的な連携の下、必要な調査・情報収集等を行います。</p>	
<b>【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）</b>	
<p>○令和5年7月に「新たな総合福祉センターの機能・設備に関する検討会」を開催し、検討会報告書（案）の最終確認を行いました。</p> <p>○新たな総合福祉センターの機能・設備に関する検討に当たっては、庁内横断的な連携の下、必要な調査・協議、情報収集等を行いました。</p>	
<b>【年度別計画に対する今年度の進捗見込】（CHECK）</b>	○
<b>【後期における取組の方向】（ACTION）</b>	
<p>○検討会の結果等の取りまとめに当たって、検討会での御意見等を踏まえて、必要な庁内検討や協議等を行ったことにより、後期のできるだけ早期を目的に取りまとめます。</p> <p>○今後、検討会の結果等を踏まえ、引き続き、総合福祉センターの利用者・関係団体等との意見交換を重ねながら、総合福祉センターの移転・更新に向けた取組を進めます。</p> <p>○新たな総合福祉センターに必要な施設機能等を検討するため、庁内横断的な連携の下、必要な調査・情報収集等を行います。</p>	

後期	
<b>【取組計画】（PLAN）</b>	
<p>○新たな総合福祉センターの検討に当たっては、引き続き、利用者や関係団体等の御意見を丁寧に伺いながら、移転に向けた取組を推進します。</p> <p>○新たな総合福祉センターに必要な施設機能等を検討するため、庁内横断的な連携の下、必要な調査・情報収集等を行います。</p>	
<b>【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）</b>	
<p>○「新たな総合福祉センターの機能・設備に関する検討会」における議論や、利用者・関係団体等の御意見等を踏まえて、令和5年11月に「新たな総合福祉センターの機能・設備に関する検討会報告書」を取りまとめるとともに、基本設計に反映しました。</p> <p>○令和5年12月に「新たな総合福祉センターの整備に関するオープンハウス」を開催し、検討会報告書の内容や取組等に関して広く市民に周知しました。</p> <p>○新たな総合福祉センターの機能・設備に関する検討に当たっては、組織横断的な連携の下、必要な調査・協議、情報収集等を行いました。</p>	

総括	
<b>【今年度の総括、次年度以降の取組の方向】（CHECK・ACTION）</b>	
年次評価	A（計画どおりに進捗）
<p>○「新たな総合福祉センターの機能・設備に関する検討会」における議論や、利用者・関係団体等の御意見等を踏まえて、令和5年11月に「新たな総合福祉センターの機能・設備に関する検討会報告書」を取りまとめるとともに、基本設計に反映しました。</p> <p>○検討会報告書の内容等を踏まえ、利用者・関係団体等との意見交換会を開催し、御意見を伺いながら理解の醸成を図るとともに、「新たな総合福祉センターの整備に関するオープンハウス」を2回開催し、取組の方向を広く周知しました。</p> <p>○検討会や利用者・関係団体等との意見交換会の開催に当たっては、多くの方が自宅からも参加及び傍聴いただけるよう、オンラインを併用して実施するとともに、手話通訳の映像も同時に配信するなど、合理的配慮を踏まえた会議運営を行いました。</p> <p>○新たな総合福祉センターの整備に向けて、組織横断的な連携の下、引き続き利用者・関係団体等の御意見を丁寧に伺いながら、取組を推進します。</p> <p>○引き続き、利用者・関係団体等をはじめとする市民に広く周知するための取組を推進します。</p>	

方針	6	公共資産の有効活用・最適化（ファシリティマネジメント）	年度別計画	◆公民連携事業の推進 ◆ホール機能・規模等の検討 ◆市民・施設利用団体等との意見聴取を踏まえた取組の検討・推進
基本的取組	6-1	ファシリティマネジメントの推進	令和5年度	
プラン	35	公民連携手法によるグリーンホール建替えの推進		
担当課	文化生涯学習課, 企画経営課			

施設及び設備の経年劣化を踏まえた新たなグリーンホールの整備について、公民連携手法を活用した整備手法を多角的に検討するとともに、市民・施設利用団体等との意見聴取を踏まえた検討を進め、調布駅前に向する立地特性を生かしたまちの魅力を高める施設整備に取り組みます。

前期	
<b>【取組計画】（PLAN）</b>	
<p>○これまでの利用状況や規模等に係る分析結果などを活用しながら、オープンハウスやアンケートなど、様々な市民参加手法を活用し、幅広く市民に対して新たなグリーンホールの整備に向けた市の取組状況を共有するほか、現在のグリーンホールの課題を踏まえた新たなホールに求める機能などについて、市民と意見交換を行います。</p> <p>○新たなグリーンホールの整備に向けて、事業化に向けた前提条件の下、ホールの機能や関連技術、都市計画との整合、施設運営・経営等の専門的な見地から検討・助言を行う、有識者による検討会議設置に向けた準備を進めます。</p>	
<b>【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）</b>	
<p>○新たなグリーンホールの整備に向けて、ホールの現状や市の取組等に関するパネルを展示し、広く市民から意見を伺う場としてオープンハウスを実施しました。そのほか、各種イベントやグリーンホールでのパネル展示及び市内公共施設でのポスター掲示により、回答フォームを活用したWebアンケートを実施し、継続した意見聴取につなげました。また、施設利用団体との意見交換会の実施により、現施設の課題や今後のホールに期待する内容など様々な意見を広く把握することができました。</p> <p>○新たなグリーンホールの整備に伴い、調布駅周辺の更なるにぎわい創出に向け、市の財政負担の縮減に資する施設構成や事業手法についてのアイデアを得るため、公募によるサウンディング型市場調査を実施しました。</p> <p>○事業化に向けた前提条件の下、ホールの機能や関連技術、都市計画との整合、施設運営・経営等の専門的な見地から検討・助言を行うことを目的に新たに設置する、有識者による検討会議の運用に向けた検討を進めました。</p>	
<b>【年度別計画に対する今年度の進捗見込】（CHECK）</b>	○
<b>【後期における取組の方向】（ACTION）</b>	
<p>○有識者による検討会議の設置に向けた準備を進めるとともに、継続したWebアンケートや広く市民及び施設利用団体等からの意見の把握に継続して取り組みます。</p>	

後期	
<b>【取組計画】（PLAN）</b>	
<p>○サウンディング型市場調査の結果を踏まえた市の取組状況などについて、市民と共有する場として、前期に引き続きオープンハウスやアンケートなどを実施するほか、ワークショップ形式で施設利用団体等との意見交換を行います。</p> <p>○新たなグリーンホールの整備に向けて、事業化に向けた前提条件の下、ホールの機能や関連技術、都市計画との整合、施設運営・経営等の専門的な見地から検討・助言を行う、有識者による検討会議を設置し、施設整備に向けた市の考え（基本構想案）の作成についての検討を進めます。</p>	
<b>【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）</b>	
<p>○新たなグリーンホールの整備に向けて、市の取組状況等に関するパネルを展示し、広く市民から意見を伺う場としてオープンハウスを開催しました。そのほか、グリーンホールでのパネル展示及び市内公共施設でのポスター掲示に合わせてWebアンケートを実施し、広く意見の把握に努めました。また、施設利用団体との意見交換会の実施により、現施設の課題や今後のホールに期待する内容など様々な意見を把握することができました。</p> <p>○サウンディング型市場調査の結果を踏まえて事業スキームの検討を進めるとともに、結果を市ホームページで公表しました。</p>	

総括	
<b>【今年度の総括、次年度以降の取組の方向】（CHECK・ACTION）</b>	
年次評価	A（計画どおりに進捗）
<p>○公募によるサウンディング型市場調査を実施し、市の財政負担縮減のための施設構成や事業手法について、様々な意見を得ることができました。しかしながら、近年の資材価格の高騰や労務費の上昇による影響から、公民連携における事業者としての採算性の見直しを含め、実現可能な整備手法を取りまとめる必要があります。</p> <p>○事業化に向けた検討の進捗と合わせ、引き続き、施設利用団体をはじめ、広く市民の意見の把握に向けた市民参加手続の実践に取り組みます。また、有識者による検討会議を設置し、ホール機能等の検討に取り組みるとともに、施設全体の基本構想の策定につなげます。</p> <p>○引き続き、適宜サウンディング型市場調査や事業者との意見交換を実施します。</p>	

方針	6	公共資産の有効活用・最適化（ファシリティマネジメント）	年度別計画	
基本的取組	6-1	ファシリティマネジメントの推進		
プラン	36	学校施設の建替え及び長寿命化の推進	令和5年度	◆学校整備におけるPFI事業の実施（事業者選定） ◆公共施設マネジメント計画に基づく効率的な学校施設整備の推進
担当課	教育総務課，企画経営課			

調布市公共施設等総合管理計画における基本方針や学校施設整備方針に基づき、PFI手法による学校整備（若葉小学校・第四中学校・図書館若葉分館の施設一体型整備）に取り組みます。また、適切な維持保全により施設の長寿命化に取り組むほか、不足教室の発生等、喫緊の課題がある学校について具体的な取組を検討します。

前期	
<b>【取組計画】（PLAN）</b>	
<p>○調布市学校施設整備方針の基本的な考え方に基づく学校整備を実施します。</p> <p>○概ね80年程度の目標使用年数を見据えた残存期間を考慮した長寿命化改修を実施します。</p> <p>○食物アレルギー対策を推進するため、給食室改修に併せたアレルギー対応専用調理室を整備します。</p> <p>○不足教室対策として、第一小学校及び多摩川小学校で普通教室整備を実施します。</p> <p>○若葉小学校及び第四中学校の一体型整備の基本計画策定及びPFI事業者選定を進めます。</p>	
<b>【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）</b>	
<p>○アレルギー対応専用調理室の整備を併せて行う深大寺小学校及び石原小学校の給食室改修に着手しました。</p> <p>○不足教室対策として行う多摩川小学校の普通教室整備に着手するとともに、第一小学校普通教室整備工事の設計を実施しました。</p> <p>○若葉小学校及び第四中学校の一体型整備の基本計画を策定するとともに、実施方針や要求水準書（案）を公表し、PFI事業者選定に着手しました。</p>	
<b>【年度別計画に対する今年度の進捗見込】（CHECK）</b>	○
<b>【後期における取組の方向】（ACTION）</b>	
○若葉小学校及び第四中学校の一体型整備について、学識経験者を含む事業者選定審査委員会を設置し、PFI事業者選定を進めます。	

後期	
<b>【取組計画】（PLAN）</b>	
<p>○調布市学校施設整備方針の基本的な考え方に基づく学校整備を実施します。</p> <p>○概ね80年程度の目標使用年数を見据えた残存期間を考慮した長寿命化改修を実施します。</p> <p>○食物アレルギー対策を推進するため、給食室改修に併せたアレルギー対応専用調理室を整備します。</p> <p>○不足教室対策として、第一小学校及び多摩川小学校で普通教室整備を実施します。</p> <p>○若葉小学校及び第四中学校の一体型整備のPFI事業者選定を進めます。</p>	
<b>【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）</b>	
<p>○学校施設の長寿命化対策として、神代中学校体育館及び第三中学校第一体育館の改修工事を実施しました。</p> <p>○アレルギー対応専用調理室の整備を併せて行う深大寺小学校及び石原小学校の給食室改修を実施しました。</p> <p>○不足教室対策として、多摩川小学校の普通教室整備を実施するとともに、第一小学校普通教室整備に着手しました。</p> <p>○若葉小学校及び第四中学校の一体型整備の基本計画を策定したほか、実施方針や要求水準書を公表するとともに、入札公告を行い、PFI事業への入札参加事業者の募集を開始しました。また、事業者選定に向けて、審査委員会を設置しました。</p>	

総括	
<b>【今年度の総括，次年度以降の取組の方向】（CHECK・ACTION）</b>	
年次評価	<b>B（概ね計画どおりに進捗）</b>
<p>○令和5年度は、体育館改修などの学校施設の長寿命化、普通教室整備による不足教室対策、アレルギー対応専用調理室整備による食物アレルギー対策など、調布市公共施設マネジメント計画に基づく学校整備を実施するとともに、ゼロカーボンシティ実現に向けた取組として、校舎内のLED化を実施しました。</p> <p>○設計業務委託について、入札不調が相次ぎ発生したため、令和5年度内での設計が未完となっています。このため、財政フレームも含め、令和6年度以降の計画の見直しを行いました。</p> <p>○令和6年度は、調布市公共施設マネジメント計画に基づき、若葉小学校及び第四中学校の一体型整備について、PFI事業者選定を進め、事業契約締結後、基本設計・実施設計に着手するとともに、染地小学校施設整備に伴う基本構想策定を進めます。</p>	

方針	6	公共資産の有効活用・最適化（ファシリティマネジメント）	年度別計画	
基本的取組	6-1	ファシリティマネジメントの推進		
プラン	37	スポーツ施設の効率的かつ効果的な維持管理・運営	令和5年度	◆効率的かつ効果的なスポーツ施設の維持管理・運営の検討 ◆西調布体育館の代替機能の検討（移転に向けた調整等）
担当課	スポーツ振興課，企画経営課，関係各課			

多様化するスポーツ活動に対するニーズや各スポーツ施設を取り巻く課題を踏まえ、施設管理におけるより効率的かつ効果的な維持管理・運営の検討に取り組みます。あわせて、中央自動車道の耐震補強工事等に伴う西調布体育館の代替機能の検討・確保に取り組みます。

前期	
<b>【取組計画】（PLAN）</b>	
<p>○多様なニーズに対応するためキャッシュレス決済導入や施設利用予約システム更新を含む利用環境向上の取組を検討します。</p> <p>○中日本高速道路株式会社の工事期間中における西調布体育館の代替機能の確保と併せて、周辺の公共施設用地を活用した代替施設の建設による機能移転・更新に向けた検討を進めます。</p>	
<b>【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）</b>	
<p>○現行の施設利用予約システム開発業者と協議し、更新時の追加機能やデモ検証を行って利用環境向上に向けた検討を進めました。</p> <p>○施設利用予約システムの共同調達を目指すGovTech東京の検討会議に参加し、新しいシステムの導入に向けた仕様の検討を行いました。</p> <p>○中日本高速道路株式会社の工事期間中における西調布体育館の代替機能の確保に向け、条件整理等の検討を行いました。代替施設の建設地については、庁内横断的に関係部署と連携し、西調布体育館周辺の公共施設用地等を候補として検討を進めました。</p>	
<b>【年度別計画に対する今年度の進捗見込】（CHECK）</b>	○
<b>【後期における取組の方向】（ACTION）</b>	
<p>○施設利用予約システムの刷新やキャッシュレス決済の導入等、広い視野で引き続き利用環境向上に向けた検討を進めます。</p> <p>○中日本高速道路株式会社の動向を注視し、西調布体育館の代替施設建設までの間の対応について検討を進めます。公共施設用地を活用した代替施設の建設については、予算措置を踏まえて具体的な検討を進めます。</p>	

後期	
<b>【取組計画】（PLAN）</b>	
<p>○多様なニーズに対応するためキャッシュレス決済導入や施設利用予約システム更新を含む利用環境向上の取組を検討します。</p> <p>○中日本高速道路株式会社の工事期間中における西調布体育館の代替機能の確保と併せて、周辺の公共施設用地を活用した代替施設の建設による機能移転・更新に向けた検討を進めます。</p>	
<b>【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）</b>	
<p>○施設利用予約システムの更新に向けて、GovTech東京による共同調達のシステム開発業者と協議し、システム更新時に実装したい機能についての検討を進めました。</p> <p>○西調布体育館の機能移転について、中日本高速道路株式会社の動向を確認しつつ、近隣の学校敷地等を機能移転先の候補地とした比較検討調査を実施するなど、多角的に検討を進めました。</p>	

総括	
<b>【今年度の総括、次年度以降の取組の方向】（CHECK・ACTION）</b>	
年次評価	A（計画どおりに進捗）
<p>○スポーツ施設の利用環境向上の観点から、GovTech東京による施設利用予約システムの共同調達も含め、令和8年度中のシステム更新に向けた検討を進めました。</p> <p>○西調布体育館の利用者に対して、切れ目なくスポーツできる場を提供することを最優先とし、西調布体育館近隣の学校敷地等を活用した移転について多角的に検討を進めました。来年度はその結果をもとに教育部局との協議・調整を進めていきます。</p>	